

伝笑鳩例会<幸 裕 (=交友) 録>(頓珍漢な会話)

1. 「破天荒な作家で政治家、89歳で逝く！」

<裕>お父ちゃん、パーフェクトゲームや。

<幸>何言うてんねん、プロ野球はまだシーズンインしてへんで。

<裕>ちゃうねん。2月2日付在京6紙の一面コラム(朝日新聞やったら<天声人語>)全てが皆なこの人のことを取り上げてん。「かねやん」訃報の時も6紙中5紙までやったんやから。

<幸>学生時代に「太陽の季節」で最年少の芥川賞受賞、保守の<障子>を突き破れるかと言われながら参議院議員、衆議院議員、最後は東京都知事にもなりはった。今は亡き大スター裕次郎の兄、そして4兄弟(元衆院議員伸晃、タレント良純、衆院議員宏高、画家延啓)の父、歯に衣着せぬ発言が物議を醸すこと数知れず。「攻撃的な若者のまま89歳の生涯を閉じた。」とは作家の高樹のぶ子さんの弁やなあ。

<裕>旧制湘南中学以来の親友だった文芸評論家、江藤淳さんの評は「無意識過剰」やってんて。そやから「他人からああ思われはしないか、こう言われるのではないかと顧慮することがあらへん。言いたいことを言い、書きたいことを書きはった。

<幸>政治家としての暴走めいた発言ばかりが目され、作品が正当に評価されにくい面も確かにあり、調和を重んじる自民党内では浮いた存在にもなってたなあ。

<裕>「政治そろそろやめて文学に帰って来て！政治家になって器量が悪くなった。」と故瀬戸内寂聴さんに言われたこともあったらしいで。

<幸> そもそもあの人は<作家>やったん？それとも<政治家>やったん？

<裕> 学生時代はサッカーやってはったさかい<作家>や思うで。マイペースでお世辞は言えない人やさかい政治(せじは)家(いえ)ず、ある意味で<政治家>ではなかったかもな。まぶしい太陽だった人、石原慎太郎氏逝く。夕日が沈む。

2. 「ウクライナ侵攻」やめさせるには

<裕> プーチン大統領へ、「ウクライナ侵攻やめたら北京五輪のフィギュアスケート女子カミラ・ワリエワ選手に金メダルあげるで」言うたらどないや？金メダルには「ドーピング疑惑調査中ですねん」ちゅう付箋貼って、IOCバツハ会長からプーチン大統領へ直接渡してもらうのが一番ええんちゃうかと思うねんけど。

加えてプーチンはんとバツハはんへ「ROC」(←知ってる人は知ってる流通卸センター)の紳士服をプレゼントしたら決まりやで。

<幸>そやな。それでウクライナ侵攻止められたら、五輪が世界平和に貢献したと言えるで。

以 上

(大鳥羽 裕太郎)

